



資料 1

令和 7 年度上下水道事業会計 予算の編成について

令和 7 年 2 月 1 8 日
宇都宮市上下水道局

I	令和7年度予算（案）について	3
II	水道事業会計の予算（案）概要	5
1	業務の予定量など	5
2	主な実施事業	6
3	予算（案）概要【収益的収支】	9
4	予算（案）概要【資本的収支】	10
III	下水道事業会計の予算（案）概要	11
1	業務の予定量など	11
2	主な実施事業	12
3	予算（案）概要【収益的収支】	15
4	予算（案）概要【資本的収支】	16
IV	各事業費の詳細	17

1 当初予算編成の考え方

令和7年度については持続可能な経営基盤の確立と「第2次宇都宮市上下水道基本計画改定計画」に掲げた「安定した上下水道事業の推進」、「災害に強いライフラインの確立」、「顧客に信頼される経営の推進」の実現に向けて、予算編成を行う。

(1) 災害対策

大規模災害時に備えた基幹施設・基幹管路等の耐震化や、市街地における浸水被害の軽減を図る雨水対策等を推進することにより、災害に強い安全で安心なライフラインを確保する。

(2) 老朽化対策

老朽化した上下水道施設や管路について、施設の重要度や劣化による影響などのリスクと中長期的な更新需要や財政収支バランスを考慮しながら計画的な更新や適正な維持管理に取り組む。

(3) DX・カーボン ニュートラル

業務の効率化と顧客サービスの向上を図るDXの推進やカーボンニュートラルの実現に向けた施策・事業などの取組を優先的・重点的に推進していく。

(4) サービス向上 経営基盤確立

お客さまニーズを的確に把握し、より充実したサービスの提供に努めるとともに、安定した財政基盤の確保に取り組む。

I 令和7年度予算（案）について



2 令和7年度当初予算の概要 〈 〉内は対前年度

① 企業会計（水道・下水道事業）当初予算規模

【水道事業】 233億 761万円 〈+ 26億3, 023万円〉

【下水道事業】 326億6, 533万円 〈+ 33億2, 436万円〉

② 水道料金は人口減少に伴い微減の見込み

下水道使用料は、新規接続者の増により増の見込み

【水道事業】 (R6) 100.2億円

→ (R7) 99.3億円 〈▲0.9億円〉

【下水道事業】 (R6) 85.1億円

→ (R7) 86.6億円 〈 1.5億円〉

③ 建設改良事業は、アセットマネジメントに基づき計画的に実施

【水道事業】 (R6) 81.4億円

→ (R7) 102.9億円 〈+ 21.5億円〉

【下水道事業】 (R6) 91.5億円

→ (R7) 107.5億円 〈+ 16.0億円〉

II 水道事業会計の予算（案）概要



1 業務の予定量など

業務の予定量

区 分	令和 7 年度	令和 6 年度	増減	増減率
① 給水戸数 (戸)	259,224	256,146	3,078	1.2%
② 年間総給水量 (m ³)	56,018,962	56,702,124	△683,162	-1.2%
③ 有収水量 (m ³)	50,753,180	51,372,124	△618,944	-1.2%
④ 有収率 (%)	90.60	90.60	0.00	
⑤ 普及率 (%)	99.00	99.00	0.00	

※ 世帯数増に伴い、給水戸数が増えているが、給水人口が減少していることから年間総給水量が減となっている。

一般会計からの繰入金

項 目	令和 7 年度	令和 6 年度	増減
一般会計負担金	30,891千円	22,521千円	8,370千円の増
一般会計出資金	54,400千円	64,100千円	9,700千円の減
合計	85,291千円	86,621千円	1,330千円の減

※ 負担金は耐震化推進事業の増に伴う増、
出資金は脱炭素事業の減に伴う減

II 水道事業会計の予算（案）概要



2 主な実施事業

◆ 災害対策 788百万円（前年度222百万円）

「宇都宮市水道施設耐震化整備計画」に基づき、災害発生時においても被害を最小限にとどめ、一定の配水機能を維持するため、基幹施設・基幹管路の耐震化を推進し、安全で安心なライフラインを確保する。

○ 施設耐震化事業

松田新田浄水場配水池耐震化工事など

《浄水場耐震化率：R6に91.8%》

《配水池耐震化率：R7に66.1%》

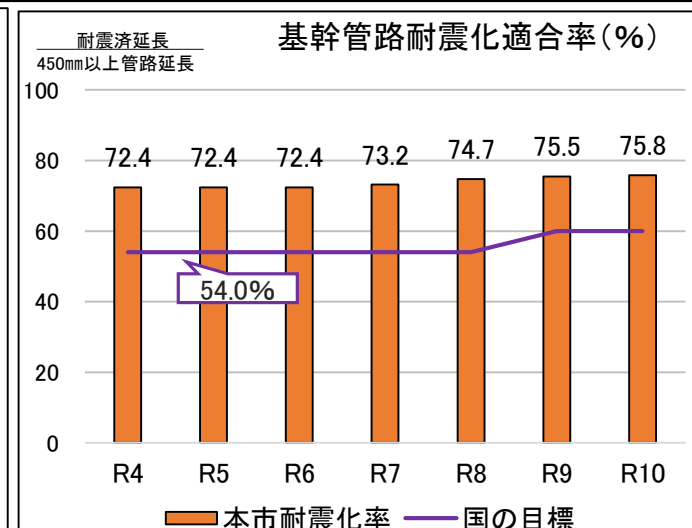
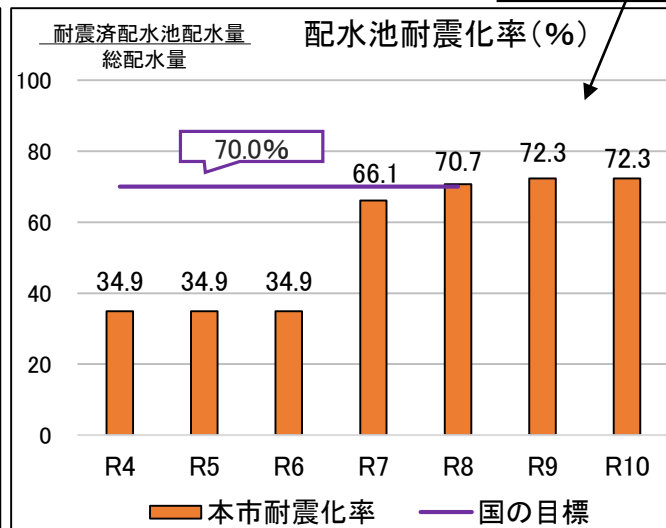
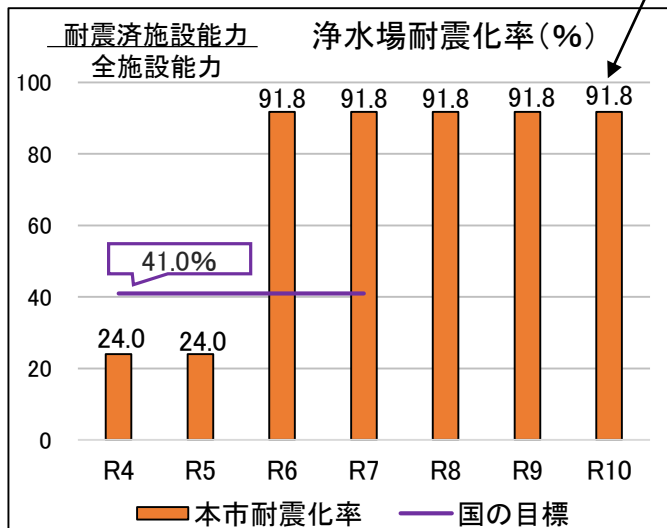
○ 管路耐震化事業

白沢浄水場導水管布設工事など

《基幹管路耐震化率：R8に74.7%》

※今市浄水場の耐震化完了（R17）に伴い99%達成予定

※第1期耐震化整備計画に基づきR8に国の目標達成
R8以降は第2期計画において検討



II 水道事業会計の予算（案）概要



2 主な実施事業

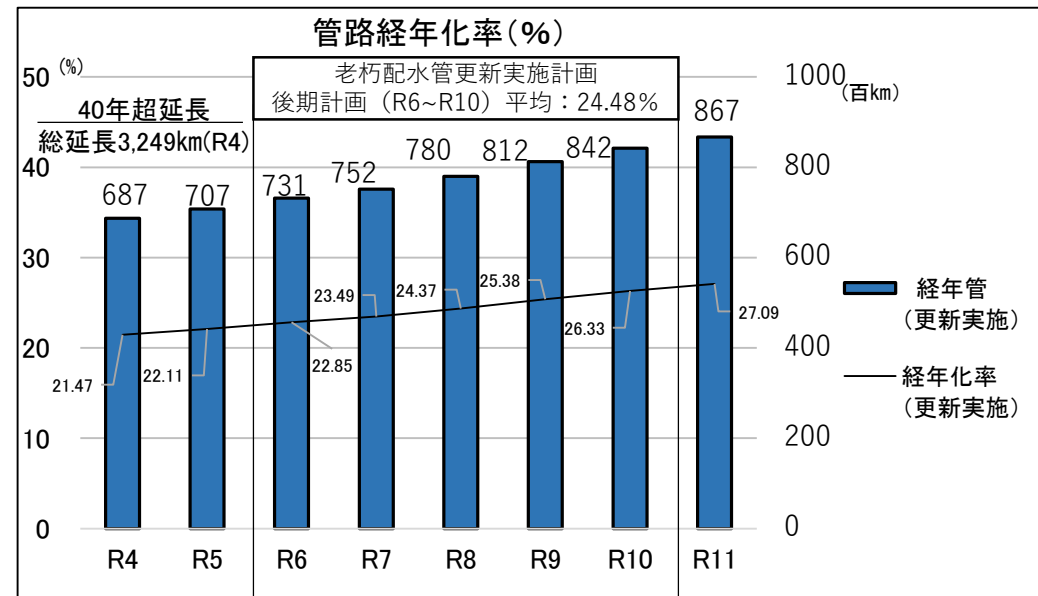
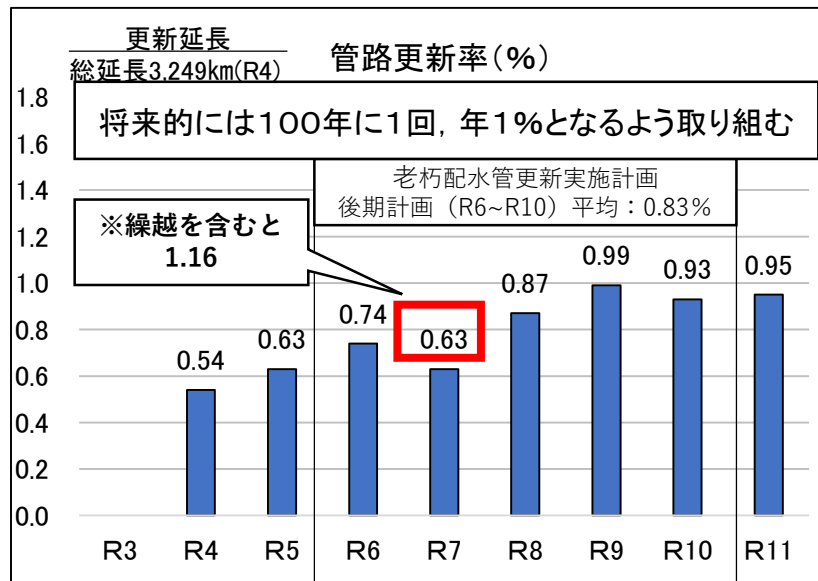
◆ 老朽化対策 8, 8 1 4 百万円（前年度 6, 4 7 9 百万円）

・「宇都宮市水道施設更新・長寿命化実施計画」「老朽配水管更新実施計画」等に基づき、持続可能な水道事業を実現するため、事業の平準化を図りながら、老朽化が進行している水道施設の計画的な改築・更新を推進する。

○ 管路更新事業 5, 5 4 0 百万円
老朽配水管更新工事（2 0, 3 9 5 m）ほか

○ 施設整備事業 2, 2 4 3 百万円
松田新田浄水場監視制御設備等更新工事，戸祭配水場配水池更新工事 ほか

○ 【拡】漏水対策推進事業 8 3 1 百万円
漏水多発給水管布設替工事 ほか



II 水道事業会計の予算（案）概要



2 主な実施事業

- ◆ **D X 関連** 5 9 百万円 （前年度 7 6 百万円）
I C T を活用した利便性の高いサービスの導入等の向上に取り組むとともに業務効率化を図る。
 - 【拡】 水道管路A I 劣化診断業務，人工衛星を活用した漏水調査（再掲）
 - 【新】 上下水道料金に係る自動電話催告等の導入
 - 【新】 CAD積算支援システムの導入
 - 【新】 給水工事におけるリモート検査 の導入など
- ◆ **カーボンニュートラル関連** 7 6 百万円 （前年度 9 8 百万円）
再生可能エネルギー及び上下水道資源の有効活用や省電力化など，環境に配慮した取組を行い，環境負荷低減を推進する。
 - 【新】 今市浄水場太陽光発電設備導入
施設のLED化
- ◆ **サービス向上・経営基盤確立関連** 1 2 8 百万円 （前年度 一百万円）
お客さまニーズを的確に把握し，より充実したサービスの提供に努めるとともに，安定した財政基盤の確保に取り組む。
 - 【新】 **P F A S 検査体制の強化**
 - 【新】 代表番号の自動転送サービス導入
 - 【拡】 給水スポット「宮の泉」・「学校版宮の泉」の設置
みや水ポータルの利用者拡大事業など

II 水道事業会計の予算（案）概要

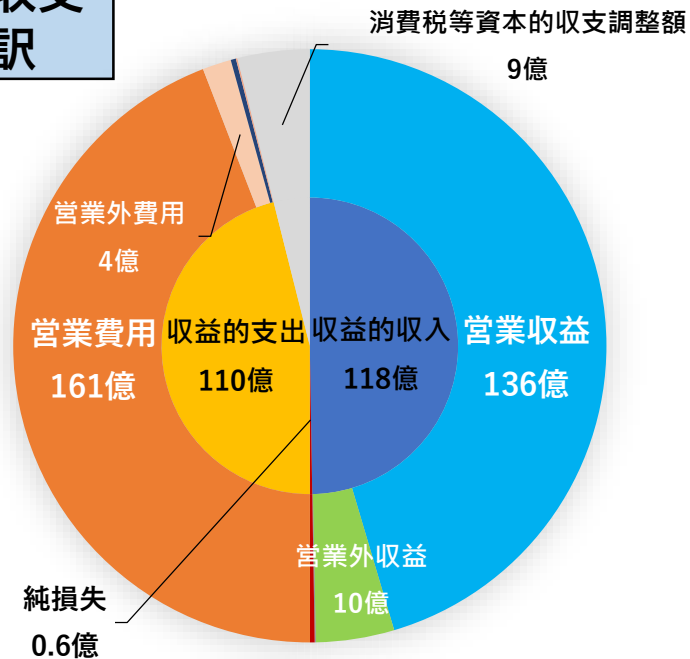


宇都宮市
上下水道局

3 予算（案）概要【収益的収支】

水 道 事 業	令和 7 年度予算(A)	令和 6 年度予算額(B)	比較((A)-(B))
収益的収入	11,822,809千円	11,605,256千円	217,553千円
収益的支出	11,001,864千円	10,294,743千円	707,121千円
消費税資本的 収支調整額	885,644千円	686,785千円	198,859千円
純損益	▲ 64,699千円	623,728千円	

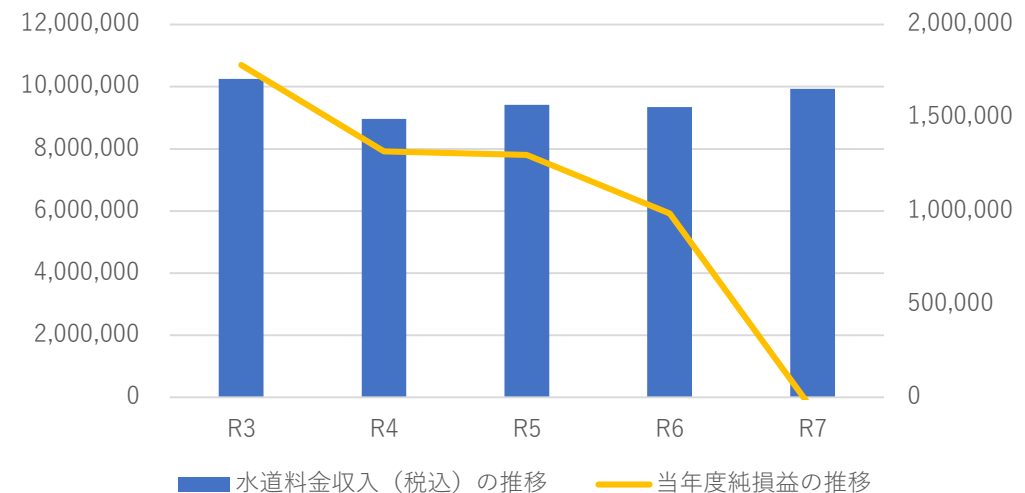
収益的収支 の内訳



水道料金収入(千円)

収益・純損益の推移

純利益(千円)

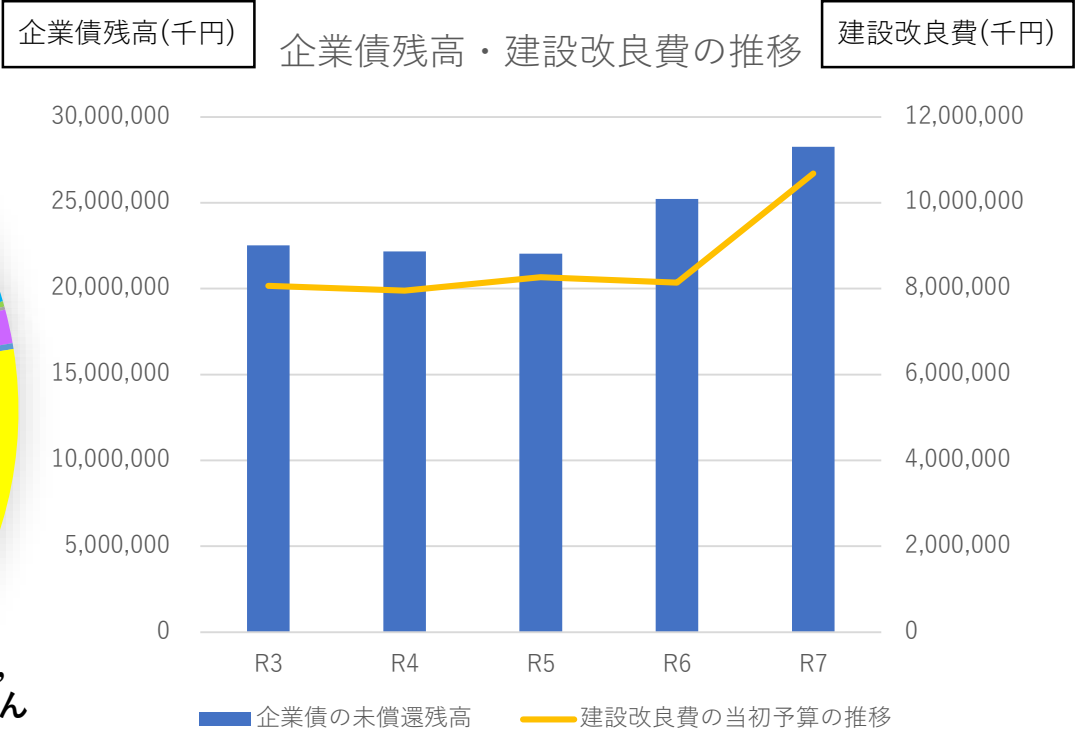
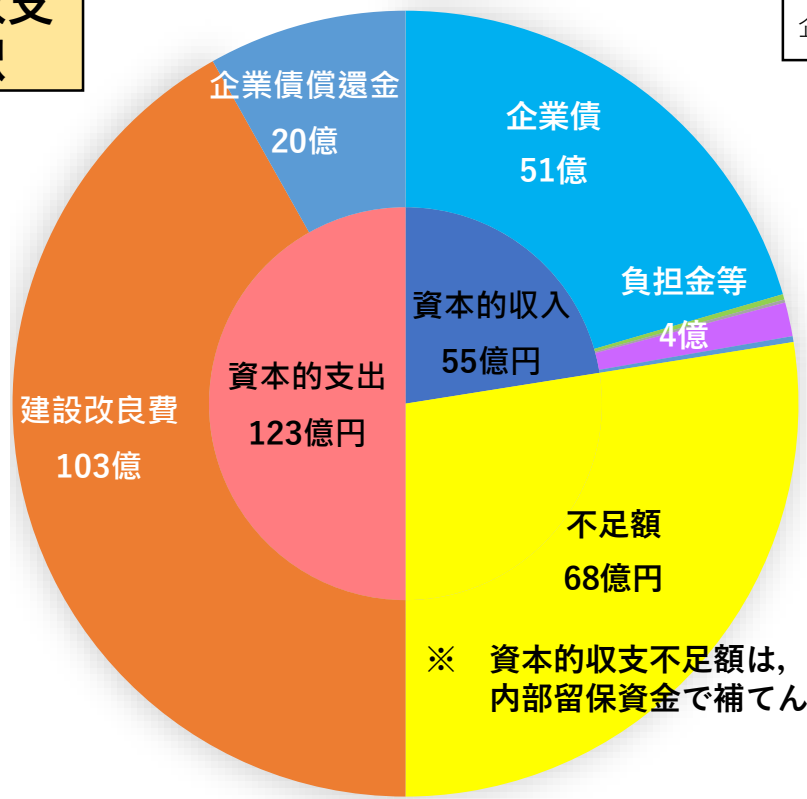


※ 上記グラフはR3~6年度純利益は決算（見込み）値

4 予算（案）概要【資本的収支】

水 道 事 業	令和 7 年度予算(A)	令和 6 年度予算額(B)	比較((A)-(B))
資本的収入	5,535,804千円	5,212,895千円	322,909千円
資本的支出	12,305,897千円	10,382,790千円	1,923,107千円
差 引 額	▲ 6,770,093千円	▲ 5,169,895千円	

資本的収支
の内訳



※ R 6 年度企業債残高は決算見込み値

Ⅲ 下水道事業会計の予算（案）概要



1 業務の予定量など

業務の予定量

区分	令和 7 年度	令和 6 年度	増減	増減率
① 排水戸数 (戸)	222,176	218,797	3,379	1.5%
② 年間総処理水量 (m ³)	89,013,108	86,083,619	2,929,489	3.4%
③ 有収水量 (m ³)	55,608,476	55,015,644	592,832	1.1%
④ 有収率 (%)	71.60	71.60	0.00	
⑤ 普及率 (%)	97.44	96.93	0.51	

※ 排水戸数の増に伴い、年間総処理水量が増

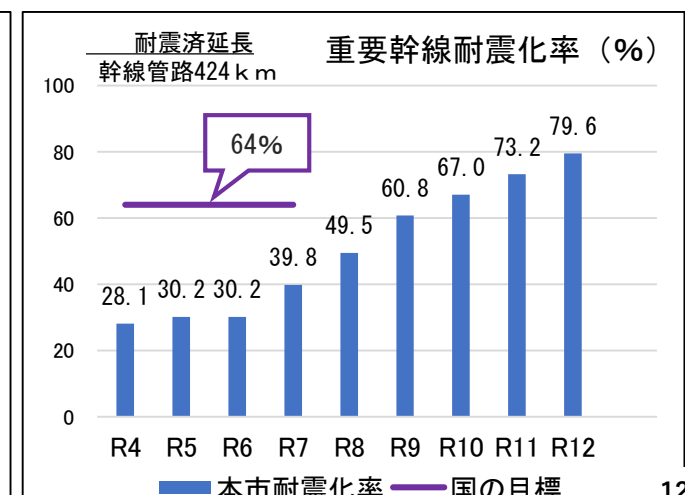
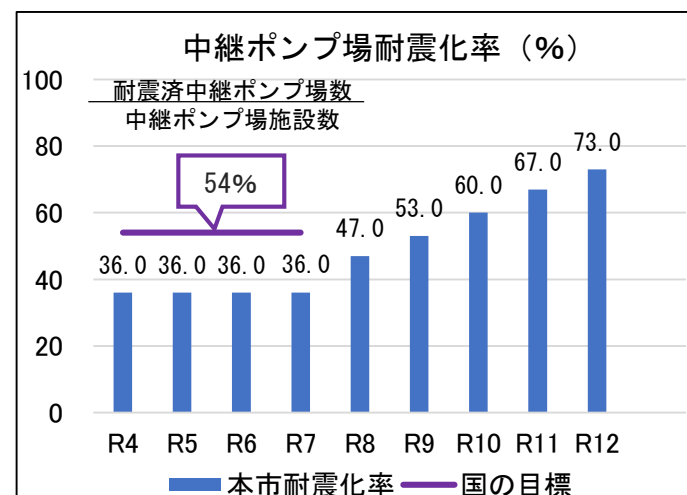
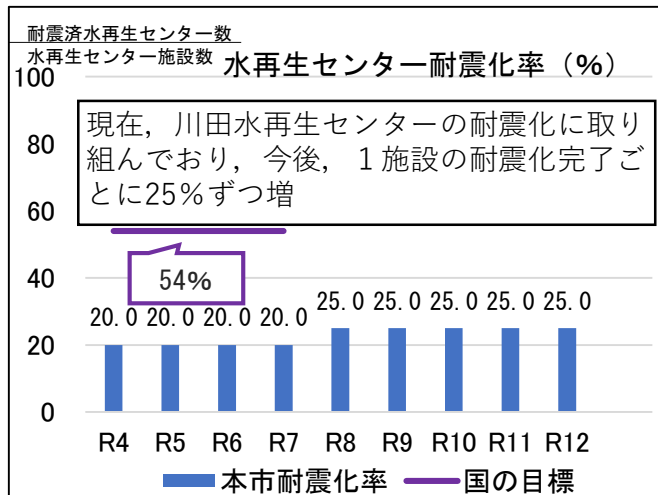
一般会計からの繰入金

項目	令和 7 年度	令和 6 年度	増減
一般会計負担金	4,765,692千円	3,969,005千円	796,687千円の増
一般会計出資金	733,454千円	1,419,653千円	686,199千円の減
合計	5,499,146千円	5,388,658千円	110,488千円の増

※ 負担金は維持管理費における労務単価等の増に伴う増、
出資金は企業債対象外事業の減に伴う減

2 主な実施事業

- ◆ **災害対策 2, 1 3 3 百万円**（前年度 1, 8 7 5 百万円）
 - ・「宇都宮市下水道施設耐震化実施計画」に基づき、施設及び管渠の耐震化を推進する。
 - ・「宇都宮市総合治水・雨水対策推進計画」に基づき、近年頻発する局所的な豪雨による浸水被害を軽減するため雨水対策事業を実施する。
- **施設耐震化事業 7 7 7 百万円**
 - 竹林中継ポンプ場耐震化工事
 - 管渠耐震化工事 など 《中継ポンプ場耐震化率：R 7 に 3 6.0 %》
 - 《重要幹線耐震化率：R 7 に 3 9.8 %》
- **雨水対策事業 1, 3 5 7 百万円**
 - 公共下水道雨水幹線整備事業（奈坪川第一排水区など）
 - 雨水貯留施設の設置促進事業 など



2 主な実施事業

◆ 老朽化対策 4, 8 1 9 百万円 （前年度 3, 8 3 6 百万円）

- ・「宇都宮市下水道施設改築・更新計画」に基づき、持続可能な下水道事業を実現するため、老朽化が進行している下水道施設の計画的な改築・更新を推進する。
- ・また、下河原水再生センターの老朽化を踏まえ、更新経費の縮減や処理の効率化を図るため、中継ポンプ場としての再構築に取り組む。

○ 施設更新事業 3, 7 9 6 百万円

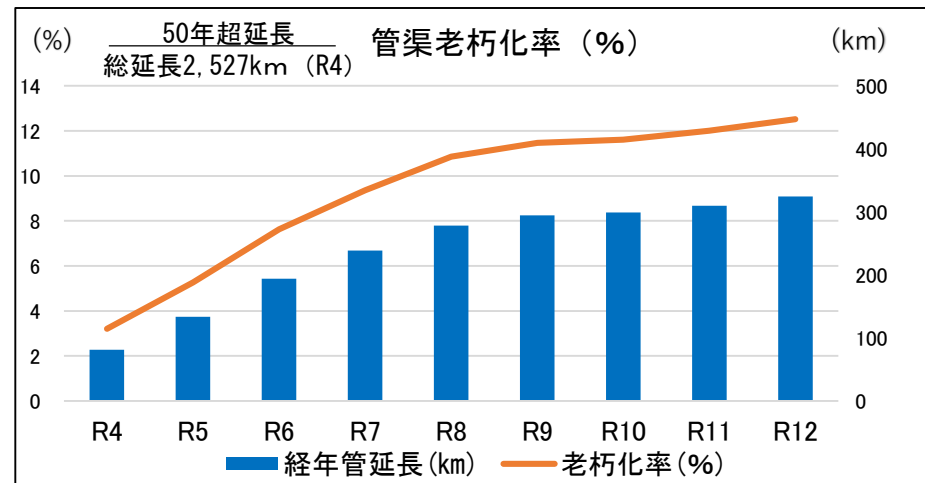
下河原水再生センター再構築（中継ポンプ場化）事業（第1期）など

○ 下水道管改築事業 8 6 8 百万円

管渠改築工事 ほか

○ **【拡】 浸入水対策事業 1 5 5 百万円**

A I による浸入水音響調査 など



2 主な実施事業

◆ DX関連 12百万円 （前年度34百万円）

事業を取り巻く環境の変化を捉えながらICTを活用した利便性の高いサービスの導入等、お客様ニーズを的確に反映した事業を展開する。

【新】排水設備工事におけるリモート検査の導入

【新】AIによる浸入水音響調査（再掲） など

◆ カーボンニュートラル関連 80百万円 （前年度188百万円）

再生可能エネルギー及び上下水道資源の有効活用や節電など、環境に配慮した取組を行い、環境負荷低減を推進する。

【拡】PHV自動車の購入
施設のLED化

◆ サービス向上・経営基盤確立関連 78百万円 （前年度一百万円）

お客さまニーズを的確に把握し、より充実したサービスの提供に努めるとともに、安定した財政基盤の確保に取り組む。

【新】ウォーターPPP導入支援業務委託

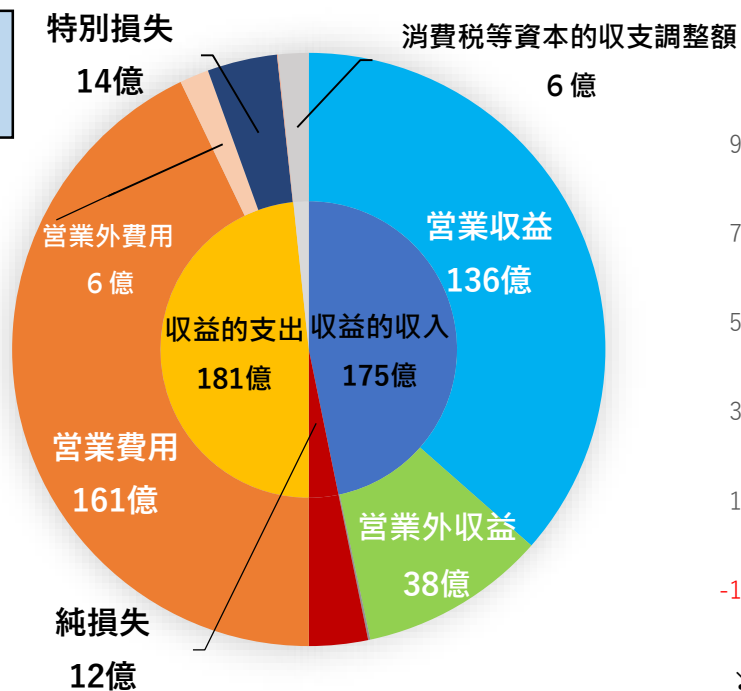
【新】下水汚泥資源の肥料化に向けた実証研究

【新】代表番号の自動転送サービス導入（再掲）

3 予算（案）概要【収益的収支】

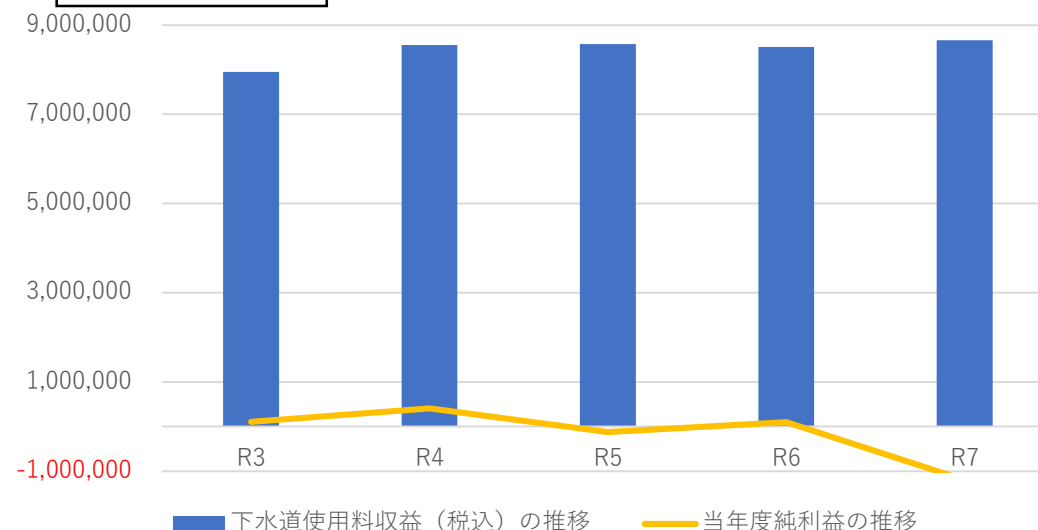
下水道事業	令和7年度予算額(A)	令和6年度予算額(B)	比較((A)-(B))
収益的収入	17,489,017千円	16,438,860千円	1,050,157千円
収益的支出	18,072,134千円	15,775,244千円	2,296,890千円
消費税資本的 収支調整額	619,427千円	591,536千円	27,891千円
純損益	▲ 1,202,544千円	72,080千円	

収益的収支 の内訳



使用料収入(千円)
純損益(千円)

収益・純損益の推移



※ 上記グラフはR3~6年度純利益は決算（見込み）値

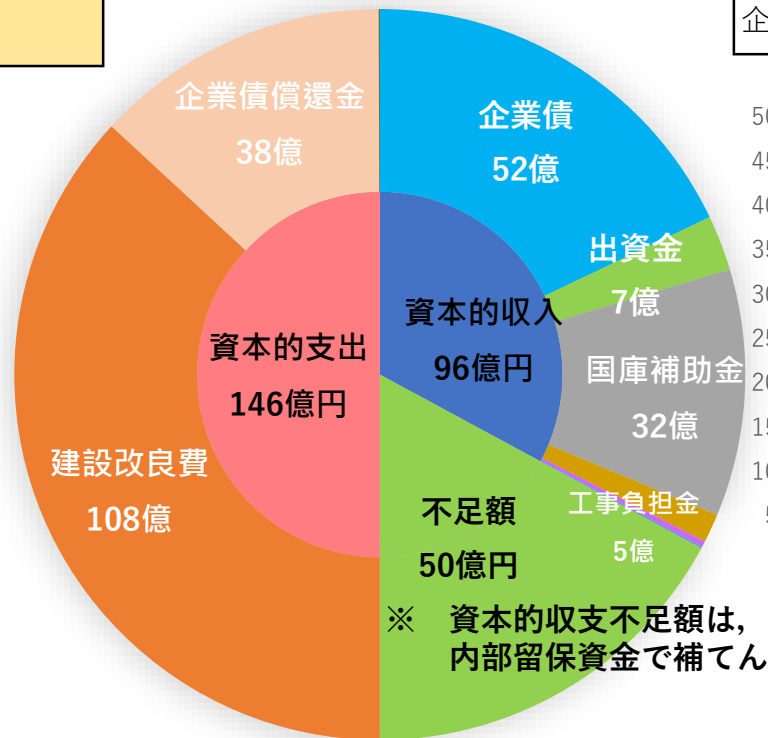
Ⅲ 下水道事業会計の予算（案）概要



4 予算（案）概要【資本的収支】

下水道事業	令和7年度予算額(A)	令和6年度予算額(B)	比較((A)-(B))
資本的収入	9,590,500千円	8,490,509千円	1,099,991千円
資本的支出	14,581,177千円	13,498,909千円	1,082,268千円
差引額	▲ 4,990,677千円	▲ 5,008,400千円	

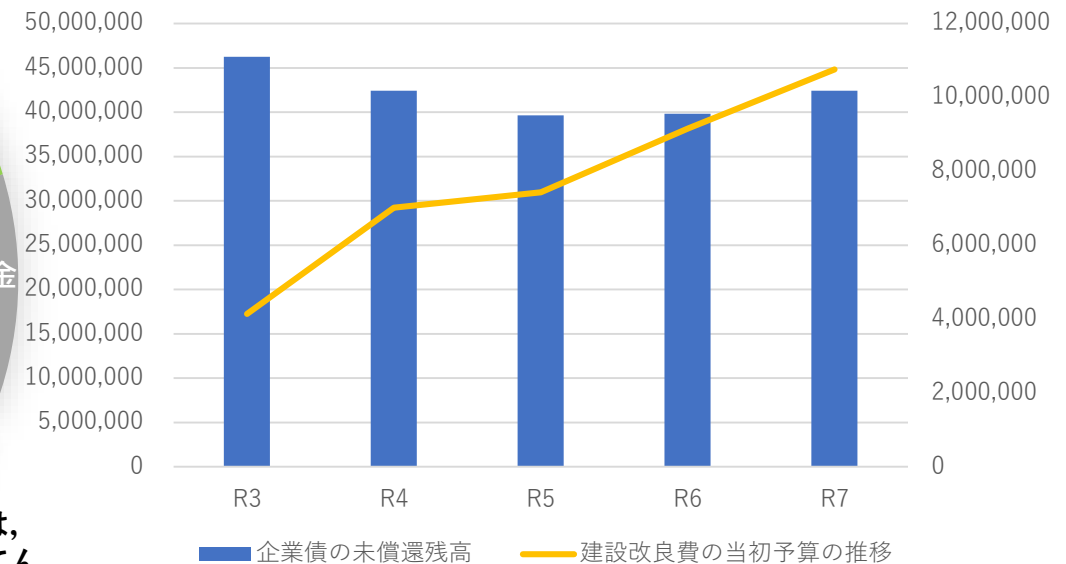
資本的収支 の内訳



企業債残高(千円)

企業債残高・建設改良費の推移

建設改良費(千円)

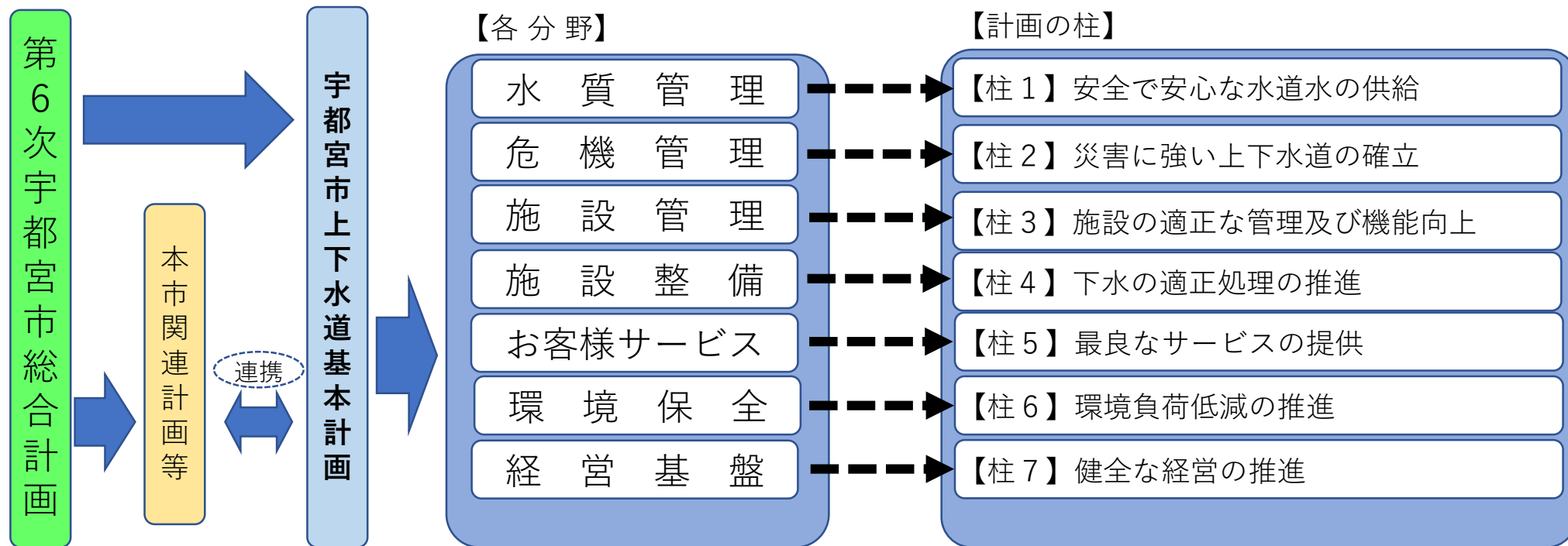


※ R6年度企業債残高は決算見込み値

IV 各事業費の詳細



第2次宇都宮市上下水道基本計画改定計画のもと、事業を計画的かつ効果的に推進するため、上下水道の各分野別に計画の柱を策定し、より具体的に事業の進捗管理などを行いながら、適切に事業を推進する。



柱1 安全で安心な水道水の供給

施策・事業名	令和7年度	令和6年度	内容
①カビ臭物質への対応	157,300千円	31,735千円	・高間木取水場カビ臭原因物質連続測定装置設置工事

IV 各事業費の詳細



柱2 災害に強い上下水道の確立

施策・事業名	令和7年度	令和6年度	内容
①水道施設耐震化の推進	788,070千円	222,500千円	・白沢浄水場導水管耐震化工事 ・松田新田浄水場配水池耐震化工事 ほか
②下水道施設耐震化の推進	777,000千円	818,150千円	・管渠耐震化工事 ・管渠耐震化実施設計 ほか
③川田水再生センターの強靱化	151,000千円	16,600千円	・管理棟建設実施設計業務委託 ほか
④公共下水道雨水幹線の整備	1,353,000千円	536,234千円	・管渠築造工事実施設計 ・管渠築造工事 ほか
⑤雨水貯留施設等の設置促進	3,722千円	8,849千円	・雨水貯留施設等設置費補助金
⑥施設の耐水化	67,360千円	100,000千円	・河内水再生センター耐水化工事

IV 各事業費の詳細



柱3 施設の適正な管理及び機能向上

施策・事業名	令和7年度	令和6年度	内容
①浄水場等施設の改築・更新	2,442,599千円	1,352,305千円	・ 松田新田浄水場監視制御設備等更新工事 ・ 今市浄水場機械設備等更新工事 ほか
②老朽配水管更新事業	5,539,733千円	5,126,799千円	・ 老朽配水管更新工事 ・ 軌道下工事に伴う負担金 ほか
③ 下河原水再生センターの再構築	2,284,710千円	985,600千円	・ 下河原水再生センター 再構築工事(第1期)
④ 水再生センター等施設の改築・更新	1,511,245千円	1,873,557千円	・ 川田水再生センター 5系水処理設備改築更新工事委託 ・ 川田水再生センター 4～6系最初沈殿池改築更新工事 ほか
⑤老朽下水道管の改築・更新	868,761千円	978,480千円	改築更新計画に基づく事業 ・ 管渠改築実施設計 ・ 管渠改築工事 ほか

IV 各事業費の詳細



柱4 下水の適正処理の推進

施策・事業名	令和7年度	令和6年度	内容
①公共下水道の整備	722,389千円	833,363千円	・管渠築造工事 ・舗装復旧 ほか
②特定環境保全公共下水道の整備	481,926千円	812,145千円	・管渠築造工事 ・舗装復旧 ほか
③下水道施設の整備	295,758千円	54,400千円	・清原水再生センター汚泥ポンプ増設工事

柱5 最良なサービスの提供

施策・事業名	令和7年度	令和6年度	内容
①広報広聴活動の充実	48,873千円	48,873千円	・広報紙の発行 ・宮の泉事業の推進 ・施設開放イベントの開催 ほか

IV 各事業費の詳細



柱 6 環境負荷低減の推進

施策・事業名	令和 7 年度	令和 6 年度	内容
①省エネ事業 (水 道)	39,166千円	98,115千円	・ 水道施設照明の L E D 化推進
②省エネ事業 (下水道)	80,110千円	129,139千円	・ 下水道施設照明の L E D 化推進 ・ PHV車両の導入
③創エネ事業	37,000千円	59,600千円	・ 今市浄水場太陽光発電設備導入

柱 7 健全な経営の推進

施策・事業名	令和 7 年度	令和 6 年度	内容
①D X の推進 (水 道)	53,502千円	76,516千円	・ 人工衛星を使用した漏水解析 ・ CAD積算支援システムの導入 ほか
②D X の推進 (下水道)	8,624千円	34,615千円	・ A I による浸入水音響調査 ・ 排水設備工事におけるリモート検査 の導入